

# 3回目はモデルナ

## 戸田ワクチン大規模接種開始

戸田市は1日、モデルナワクチンによる3回目接種を開始した。昨年6月ごろの2回目接種から7カ月経過した65歳以上の高齢者が対象。1〜2回目はファイザー社製だった人がほとんどで、モデルナ社製との「交差接種」となった。市は21日から2回目からの経過期間を6カ月以前倒しする方針。

接種会場はJR戸田公園駅近くの戸田中央総合病院の施設。午前10時の受付開始と

モデルナワクチンで交差接種を受ける高齢者＝1日、戸田中央総合病院



もに、高齢者が続々と訪れていた。午後も含め約100人が接種を受けた。

昨年6月にファイザーの2回目接種を受けたという80代の元会社員佐野脩三さんは

「交差接種に不安は感じない。国は2回目から8カ月たってからといっていたが、もっと早くやるべきだと思っていた。3回目接種ができて安心だが、まだ気は抜けない。4回目も必要かも」と話した。菅原文仁市長も会場の様子を見に訪れ「ワクチンは一日も早くが大事だ」。同病院の中村毅理事長は「市民のために役立ちたいという気持ちで引き受けた」と話した。

戸田市の3回目接種は昨年12月1日に医療従事者から開始。診療所などでの個別接種でファイザーを実施してきたが、1日からは大規模会場モデルナとの2本立てになった。(岸鉄夫)